

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	プログラミング	担当教員	出口 利憲		
学年学科	2年 電気情報工学科	通年	必修	2単位	
学習教育・目標	(E) 100%				
授業の目標と期待される効果： C言語のプログラミングを通じて、手続き型のプログラミングの基本的な概念を習得する。 (1) C言語のプログラムを理解する (2) C言語の簡単なプログラムが作成できる (3) 有用なアルゴリズムを理解する (4) データの表現方法を理解する (5) 実際にアルゴリズムやデータ表現を利用する (6) 実際にプログラムを作成し、実行する		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点 + 期末試験 100 点 + 演習レポート 100 点 後期：中間試験 100 点 + 期末試験 100 点 + 演習レポート 100 点 学年：定期試験 400 点 + 全演習レポートを 200 点に換算 得点率 (%) で成績をつける 達成度評価の基準： (1) C言語のプログラムを読み、理解することができる (2) C言語の簡単なプログラムを作成することができる (3) 授業で扱ったアルゴリズムを理解している (4) 授業で扱ったデータの表現方法を理解している (5) 実際にアルゴリズムやデータ表現を利用できる (6) 実際にプログラムを作成し、実行できる			
授業の進め方とアドバイス： 授業は板書を中心に行なうので、各自学習ノートを充実させること。 必要に応じて演習を行なうので、積極的に行ない、レポートを作成すること。					
教科書および参考書： 新・明解 C 言語 入門編 (柴田望洋, ソフトバンククリエイティブ) を教科書とする。					
授業の概要と予定：前期					AL のレベル
第 1 回：最も簡単な C プログラム					
第 2 回：画面表示					
第 3 回：整数の計算					
第 4 回：演習 (コンピュータの使い方, 整数の計算)					C
第 5 回：実数の計算					
第 6 回：演習 (整数・実数の計算)					C
第 7 回：誤差, 数学関数					B
第 8 回：中間試験					
第 9 回：繰り返し 1					
第 10 回：演習 (繰り返し 1)					C
第 11 回：繰り返し 2					
第 12 回：演習 (繰り返し 2)					C
第 13 回：キーボード入力					
第 14 回：条件分岐 1					
期末試験					
第 15 回：演習 (条件分岐)					C

授業の概要と予定：後期	AL のレベル
第 16 回：関数	
第 17 回：引数の渡し	
第 18 回：変数の種類	
第 19 回：演習（関数）	C
第 20 回：構造体	
第 21 回：演習（構造体）	C
第 22 回：関数と構造体	
第 23 回：中間試験	
第 24 回：演習（関数と構造体）	C
第 25 回：配列	
第 26 回：多次元配列	
第 27 回：演習（配列）	C
第 28 回：ソート	
第 29 回：演習（ソート）	C
期末試験	
第 30 回：文字型	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
(1)	C 言語のプログラム理解に関する問題を正確（8 割以上）に解くことができる	C 言語のプログラム理解に関する問題をほぼ正確（6 割以上）に解くことができる	C 言語のプログラム理解に関する問題を解くことができない
(2)	C 言語のプログラム作成に関する問題を正確（8 割以上）に解くことができる	C 言語のプログラム作成に関する問題をほぼ正確（6 割以上）に解くことができる	C 言語のプログラム作成に関する問題を解くことができない
(3)	アルゴリズムの理解に関する問題を正確（8 割以上）に解くことができる	アルゴリズムの理解に関する問題をほぼ正確（6 割以上）に解くことができる	アルゴリズムの理解に関する問題を解くことができない
(4)	データの表現方法に関する問題を正確（8 割以上）に解くことができる	データの表現方法に関する問題をほぼ正確（6 割以上）に解くことができる	データの表現方法に関する問題を解くことができない
(5)	アルゴリズムやデータ表現を実際に利用し、これについて正確（8 割以上）に説明することができる	アルゴリズムやデータ表現を実際に利用し、これについてほぼ正確（6 割以上）に説明することができる	アルゴリズムやデータ表現を実際に利用し、これについて説明することができない
(6)	実際にプログラムを作成・実行し、これについて正確（8 割以上）に説明することができる	実際にプログラムを作成・実行し、これについてほぼ正確（6 割以上）に説明することができる	実際にプログラムを作成・実行し、これについて説明することができない